

- 自ら学ぶ生徒
- 自他を思いやる生徒
- 健康でたくましい生徒



平成27年11月13日発行
 須賀川市立第三中学校
 TEL 73-2377
 発行責任者：校長 高崎則行

超興奮、感動をありがとう!!

駅伝東北大会初出場で堂々の6位入賞、安藤くんは区間賞

10月30日(金)、31日(土)に宮城県総合運動公園(利府町)ひとめぼれスタジアム周辺コースを会場に開催された東北大会でも初出場・6位入賞の快挙を成し遂げました。

レースは、31日(土)午前11時20分にスタート。「弁舌さわやか、走りは粘り」の佐久間雄也(3年)くんが、エースぞろいの1区を団子状態の6位で襷をつなぎ、「役割を確実に果たす男」鈴木啓佑(3年)くんが、ばらけ始めたレースの第2集団をキープし、11位で3区 佐久間幸輝(3年)くんにつなぎます。「大崩れしない仕事人」幸輝くんは、ばらけて順位がはっきりした中を着実な走りで9位まで上げ、後続に望みを託します。

私たち職員と音楽・体育後援会の役員さんで組織した応援団は、中継地点の約800~900m手前の上り坂、一番苦しいところで応援旗を掲げて声援を送っていたのですが、4区関根修斗(3年)くんが、そこを7位で通過し、「さすが、本番に強い男」と私たちをうなさせます。「大きく化ける可能性」天倉朋貴(2年)くんは、この日その片鱗を見せ、私たちの目の前で一人抜き、その後抜きつ抜かれつして8位でアンカー 安藤充志(3年)くんにつなぎました。

さて事前には、安藤くんが通過した後にスタジアムでゴールを見るのは無理なのであきらめよう、それよりもこの一番苦しいところで声援を送ろうという話になっていました。ところが、「奇跡を呼び込む男」安藤くんが8位で我々の前を通過すると、真っ先に柏村教諭と橋本教諭の女性二人がスタジアムに走っていくではありませんか。勢い、我々も後を追いました。私がスタジアムに着くと、観客席の一番前でその二人が狂喜乱舞しています。もしや間に合ったかとスタジアムの大スクリーンに目をやると、まさに安藤くんがゴール直前で先行する2選手を抜いてゴールに飛び込む瞬間でした。

「微差が決定差を生む」本大会は6位までが入賞です。全員の総合力で、その微差を制して果たした入賞は、見事です。また、私は「区間で県勢1位、できれば区間賞を取る選手がいたら素晴らしい。」と選手に伝えていました。なんと、6区の安藤くんは2位の選手との差わずか1秒での区間賞獲得です。これ以上は望むべくもないレースを見せてくれた選手たちに、心から「感動をありがとう!!」と言ってあげたいと思います。マネージャーの早坂秀斗(3年)くんには、「君ならマネージャー東北一になれるんじゃないの。」と声をかけていました。6位入賞を誰よりも喜んでいる彼の横顔は「東北一のマネージャー」の称号にふさわしい笑顔でした。



小中一貫教育の進ちょく状況（その3）

施策1:小・中学校間のパートナーシップの形成

「校長が2人いる、1つの学校」

1 校長同士の協働体制

- 定期的な打ち合わせ(第2、第4火曜日)
- 相互の教室訪問等、教育活動の理解
- 小6への中学校長講話、中1への小学校長講話
- 小学校長による高校受験の面接指導協力
- 教職員人事、**学校予算執行**の調整
- PTA役員、学校評議員、「(仮称)花王スクール応援団」との関係構築

2 小・中学校の各部門間の連絡・調整

- 小中一貫教育推進委員会の開催
- 教務主任(教育課程)、研修主任(現職教育)、生徒指導主事(生徒指導)等の協働体制の構築
- 必要に応じて、上記主任の下での小・中合同委員会の開催

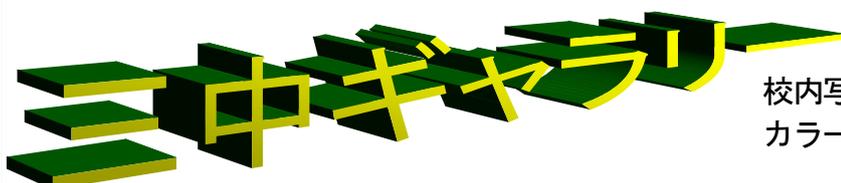
また、教育課程(教育計画)・現職教育(職員研修)・生徒指導については、それぞれの主任間で課題を共有し、小・中双方の委員会で検討し、それを持ち寄って連携・接続を強化していきたいと考えています。その上で、必要があれば小・中合同で委員会を開催し、連携・接続を充実させる方法が無理のない方法だと考えています。

例えば、生徒指導主事同士が協議し、互いの不登校対策の接続を強化しているところです。また、第15号では、体育で「並行授業」を行ったことの記事を掲載しましたが、これは体育主任同士で打合せを行って実施したものです。このように、他の部門でも必要に応じて調整を図りながら試行しているところです。

本紙第11号で示した5つの施策の1番目についてです。

小中一貫教育を推進するには、まず双方の学校間のパートナーシップが不可欠です。そのため、まず校長同士が意思の疎通を図り、連携する必要があります。その方策を第2、第4火曜日の「定期的な打ち合わせ」ほか、5つ計画しました。

また、双方の各部門間では、校長同士の打ち合わせ内容を受けて、校長・教頭・教務主任による小中一貫教育推進委員会を開催し、施策2～4に関して次年度の構想を立てているところであり、現在すでに実施可能なものは試みに実施しているところです。



校内写生展の生徒の作品を紹介します。
カラーでお届けできないのが、残念です



2年 齋藤好花さん



3年 薄井桃香さん



3年 塩田湧己くん



3年 嘉斎真紀さん



3年 有我駿佑くん



2年 鈴木菜月さん